



校正証明書

依頼者 ○○○○

住所 △△△△

品名 指示計器付温度計

型式又は性能 本体 : □□□□
センサー : △△△△

器物番号 本体 : □□□□
センサー : △△△△

製造者 本体 : □□□□
センサー : △△△△

校正項目 温度

校正方法 指示計器付温度計校正マニュアルによる(文書番号 QM-504-10-AD)

校正結果 次頁以降のとおり

受付年月日 □□□□年□□月□□日

校正年月日 □□□□年□□月□□日

校正実施場所 日本計器株式会社 JCSS校正室 大阪市北区天満三丁目11番12号

校正の結果は次頁以降のとおりであることを証明します。

□□□□年□□月□□日

〒530-0043 大阪市北区天満三丁目11番12号

日本計器株式会社

JCSS校正室 室長 近藤裕子

・この証明書は計量法第144条(第一項)に基づくものであり、特定標準器（国家標準）にトレーサブルな標準器により校正した結果を示すものです。認定シンボルは、校正した結果の国家標準へのトレーサビリティの証拠です。発行機関の事前の承認なしにこの証明書の一部のみを複製して用いることは禁じられています。

・当社は、ISO/IEC 17025：2017 (JIS Q 17025：2018)に適合しています。

・この証明書はILAC(国際試験所認定協力機構)及びAPAC（アジア太平洋認定協力機構）のMRA(相互承認)に加盟しているIAJapanに認定された校正機関によって発行されています。この校正結果はILAC/APACのMRAを通じて、国際的に受け入れ可能です。



校正結果

校正温度 (°C)	校正値 (°C)	拡張不確かさ (°C)
0.00	-0.01	0.02
50.00	50.02	0.03

校正値とは、校正温度における校正対象品の指示する温度をいう。

拡張不確かさは、信頼の水準約95%に相当し、包含係数 $k=2$ である。

校正条件

1. 校正は、常用参照標準との比較測定により実施した。
2. センサーは、チャンネル1に接続した。
3. 温槽へのセンサー挿入長は、約200 mmとした。
4. 校正を実施した時の校正室の環境条件
温度 ## °C ~ ## °C
湿度 ## % ~ ## %
5. 校正に使用した温槽
0 °Cの温度校正には、氷点槽を使用した。
50 °Cの温度校正には、水温槽を使用した。
6. 校正に使用した常用参照標準(白金抵抗温度計)の識別番号：#####

特記事項：校正品の受取後、修理及び調整を行わず校正を実施した。

以上